



録画を配信

令和の米騒動に関する認識は

町長 国・県・町がそこまで認識がなかったと思う



かね だ さとる
金田 悟 議員

昨年から今年にかけて、全国のスーパーからコメが消え、価格が高騰した、いわゆる「令和の米騒動」についての認識等を問う。

現状認識

問 令和の米騒動についての認識は。

町長 「生産の目安」を正しく見通していたか、農林水産省、県および我々が、そこまでの認識がなかったと言わざるを得ないと思っている。

また、国を信頼し、それに従って事業を展開するが、この信頼関係が崩壊寸前まで来ていると認識している。

コメの増産に向けて

問 国は、これまでの減反政策に区切りをつけ、農業者が増産に向けた取り組みの支援に転換すると表明したが、町の考え方は。

町長 農業については、きめ細やかないろいろな制度事業があるので、それらを活用しながら、少しでも生産者が安定できるよう、町として取り組んでいく。

生産者の意向調査

問 これから大きく変わろうとするコメ政策に対する、生産者の意向調査をどのようにしていくか。

農政課長 国から具体的な方策が示されていることから、引き続き情報収集に努め、具体的な方策をしっかりと見極めた中で対応を検討していく。

増産に向けた課題

問 一番大きな問題は人手不足であると思うが、どのように捉えているか。

農政課長 本町のみなさん、全国的な課題と認識している。

町では、新規就農者に対し、機械設備及び資格取得の支援等、就農に必要な各種支援を行っている。引き続き就農支援や情報発信を継続し、努めていく。

問 農業政策の不安定さも大きな課題と思うが、国に対して、末端の行政から運動を積み上げていってほしいが、どうか。

町長 声を大にして、皆さんと一緒に我々の思いを届けていく必要がある。

このことは、当局だけでは絶対できず、県議会、町議会と一緒に政府に訴えていく。

農業者へメッセージ

問 白鷹町には、約1300畝の水田があり、できる限り水田機能を維持し、水稻を作付けしてほしいと思う。そして、農業者が自信を持って農業を継続できることを願うが、農業者へのメッセージをお願いしたい。

町長 生産者の方々が、我々は日本の食料を守っているというプライドを持ってやっていくようにと思っている。そのような思いを持ちながら、行政運営をさせていただきたい。

私もひとこと

コメ価格がやっと正常な価格帯となり安堵しているが、増産すること、その反動が来ないか心配である。
(50代男性)



おいしいお米をありがとう